

「全国学力・学習状況調査」「埼玉県学力・学習状況調査」の分析・考察(平成27年度)

志木市立宗岡第四小学校

「全国学力・学習状況調査」は、文部科学省が実施している小学6年生を対象に実施している調査です。

県教育委員会では、子供たちが現在の實力を知り、「どれだけ自分が伸びたか」を実感し、自信を深めていくことを大切にしたいと考えています。そして、自信を持った子供たちが、自分をさらに伸ばし、自分のよさを活かしていけるような教育を進めていきたいと考えています。そこで、新しい調査では、「学習した内容がしっかりと身に付いているのか」という今までの視点に、「一人一人の学力がどれだけ伸びているのか」という新たな視点を加え、平成27年4月から新しい「埼玉県学力・学習状況調査」をスタートしました子供たちの成長していく姿が見える、全国でも初めての調査となります。

本ホームページでは、平成27年度の本校における2つの調査結果に対して分析・考察を行い、掲載しています。

1 全国学力・学習状況調査

小・中共通

項目	課題	解決の方向性
国語	<p>国語A</p> <ul style="list-style-type: none"> ○話す、聞く能力 <ul style="list-style-type: none"> ・話の内容に対する聞き方を工夫する。 ○読む能力 <ul style="list-style-type: none"> ・新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉える。 ・登場人物の相互関係を捉える。 ○言語についての知識・理解・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・学年別漢字配当表に示されている漢字を書く。 ・文の中の主語を捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○話を聞く際は、ポイントを絞り、自分の考えと比較して聞いたり、メモを取りながら整理して聞いたりする学習を繰り返し経験し、聞き方が確かに身に付くように指導していく。 <ul style="list-style-type: none"> ・朝の会でのスピーチの取組 ○登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉えるために、授業での〈学び合い〉を工夫して指導していく。 ○・天声人語(子ども版)の視写等 <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の継続的指導・小テストの実施
	<p>国語B</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国語への関心・意欲・態度 ○読む能力 <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の行動を基にして、場面の移り変わりを捉える。 ○書く能力 <ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書く。 ・文章と図とを関係付けて自分の考えを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文章の内容を丁寧に読み取る学習を継続して行い、考えを広げたり深めたりしていく。 <ul style="list-style-type: none"> ・天声人語(子ども版)の視写等 ○ポイントを絞って自分の考えと比較して聞いたり、メモを取りながら整理して聞いたりする学習を繰り返し経験し、“聞き方・書き方”が確かに身に付くように指導していく。
算数(数学)	<p>算数A</p> <ul style="list-style-type: none"> ○数量や図形についての知識・理解 <ul style="list-style-type: none"> ・分度器を用いて180°より大きい角を求める。 ・円の性質の理解 ・展開図から必要な面の大きさを読み取る。 ・見取り図と展開図を関連付けて、立体図形の辺や面の位置関係を理解する。 ・末尾の位のそろっていない小数の減法の計算(技能) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ぐんぐんタイム(基礎計算力アップ) <ul style="list-style-type: none"> ・教師の指導のもと、計算プリントを計画的に実施し、習熟を図る。(週1回木曜日朝) ○算数パワーアップ教室 <ul style="list-style-type: none"> ・算数の苦手な児童を対象に基礎・基本の定着を図る。(家庭訪問・個人面談の期間、夏休みに実施) ○授業の流れの研究(思考力を育てる。) <ul style="list-style-type: none"> ・校内研修の充実 (・具体物を取り入れる・ひきつける導入の工夫・気づくヒントの与え方) ○算数の習熟度別での授業実践 <ul style="list-style-type: none"> ・〈個に応じた指導の充実〉担任と算数担当教員が連携。課題把握、個別指導、実施。
	<p>算数B</p> <ul style="list-style-type: none"> ○数学的な考え方 <ul style="list-style-type: none"> ・示された2組の道のりが等しくなる根拠として図形を見出し、その図形の性質を記述する。 ・示された周の長さから辺の長さが等しくなる位置を求める。 ・見積もりの結果とそれに基づく判断を理解し、理由を記述する。 ・示された図形の色がついた部分の面積を求める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の流れの研究(思考力を育てる。) <ul style="list-style-type: none"> ・校内研修の充実 (・具体物を取り入れる・ひきつける導入の工夫・気づくヒントの与え方) ○算数の習熟度別での授業実践 <ul style="list-style-type: none"> ・〈個に応じた指導の充実〉担任と算数担当教員が連携。課題把握、個別指導を実施。

理科	<p>○観察・実験の技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顕微鏡の名称、操作方法 ・メスシリンダーの名称、扱い方 <p>○科学的な思考・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り子時計の進み方の調整。 ・観察した事実と関係づけながら情報を考察分析 ・グラフを基に考察して分析した内容の記述。 <p>○A区分 物質、B区分 地球</p> <p>○記述式</p>	<p>○学習環境を整備し、観察、実験等を充実して自然を主体的に調べる授業の展開に努める。</p> <p>○実験器具を使う機会を増やし、名称の定着や使用方法の理解を深める。</p> <p>○観察して得たデータの処理方法の習熟を図る。</p>
質問紙調査	<p>○携帯電話やスマートフォンの利用率は、全国・県よりも高くなっている。1日当たり、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間も多。</p> <p>○1日当たり、テレビ・ビデオ・DVDを視聴する時間が県の約2倍である。</p> <p>○授業以外での読書量が県・全国よりも低い。</p> <p>○地域や社会で起こっている問題や出来事への関心が県・全国よりも低い。</p> <p>○今住んでいる地域の行事への参加率が県・全国よりも低い。</p>	<p>○情報教育を確実にいき、トラブル防止に努めていく。</p> <p>○学校と家庭との情報交換によって、利用のルールの確立とトラブル防止に努めていく。</p> <p>○読書については、図書の利用率の向上を図るために図書を充実させたり、読書の機会を意図的に設けていく。</p> <p>○図書室を利用できる時間を確保するとともに、国語科や社会科などの学習で図書室を利用する機会を増やしていく。</p> <p>＜読書活動の充実＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校読書 ・図書室の積極的活用 ・ボランティアによる読み聞かせ <p>○総合学習等で地域への関わりを更に充実させる。</p>

2 埼玉県学力・学習状況調査

小学校

項目	課題	解決の方向性
国語	<p>①「話すこと・聞くこと・書くこと」特に、「理由と考えを書く」ことに課題。</p> <p>②読解力(気持ち・理由・事実を読み取る力)</p> <p>③主語・述語の見極め。</p> <p>④記述式で解答する力。</p>	<p>①④日記、書くことを増やす(文章力)、スピーチ、音読、漢字練習の仕方の工夫、漢字の日常的なテスト</p> <p>②③授業の読み取り指導の充実(キーワードを見つけさせるなど)</p> <p>○ポイントを絞って自分の考えと比較して聞いたり、メモを取りながら整理して聞いたりする学習を繰り返し経験し、“聞き方・書き方”が確かに身に付くように指導していく。</p> <p>○文章の内容を丁寧に読み取る学習を継続していき、考えを広げたり深めたりしていく。</p>
国語	<p>①「話す・聞く」能力</p> <p>②修飾・被修飾の関係の理解</p> <p>③文脈に即した漢字の選択</p> <p>④段落相互の関係</p>	<p>①～④ 天声人語(子ども版)の視写等</p> <p>①音読、スピーチ</p> <p>○話を聞く際は、ポイントを絞り、自分の考えと比較して聞いたり、メモを取りながら整理して聞いたりする学習を繰り返し経験し、聞き方が確かに身に付くように指導していく。</p> <p>○文章の内容を丁寧に読み取る学習を継続していき、考えを広げたり深めたりしていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天声人語(子ども版)の視写等

	第6学年	<ul style="list-style-type: none"> ①主語・述語・修飾語・被修飾語の関係(理解) ②筆者の意見の読み取り ③心情を説明した言葉の書き抜き ④適切な慣用句の意味・理解 ⑤事実と意見を区別して書く。 	<p>○文章の内容を丁寧に読み取る学習を継続して行い、考えを広げたり深めたりしていく。</p> <p>①～⑤ 天声人語(子ども版) 視写の取組</p> <p>①②④⑤ 朝の会でのスピーチの取組</p>
算数	第4学年	<ul style="list-style-type: none"> ①分数の大小比較 ②図形と数量関係 ③円の中心と半径 ④6等分の選択 	<p>①～④ 自力解決場面の充実を図る。</p> <p>②計算は全員ができるよう、一人一人に対応。</p> <p>○校内研修の充実 (・具体物を取り入れる・ひきつける導入の工夫・気づくヒントの与え方)</p>
	第5学年	<ul style="list-style-type: none"> ①面積の量感 ②高さの量感 ③工夫して計算する方法 ④小数の除法 ⑤四捨五入 ⑥図形の形と大きさの判断 ⑦二次元表 資料分類 	<p>①～⑦授業後の課題として、プリントで復習。</p> <p>習熟度別学習、自主学習、予習・復習等</p> <p>①②学習した内容について実生活との関連を図る。</p> <p>③ 100マス計算</p> <p>○校内研修の充実 (・具体物を取り入れる・ひきつける導入の工夫・気づくヒントの与え方)</p>
	第6学年	<ul style="list-style-type: none"> ①分数の除法と乗法 ②面積の量感 選択 ③割合 図→式 ・百分率 ④三角形の面積 ⑤最小公倍数の理解 ⑥円周率の定義 ⑦円周を等分してできる三角形の理解 ⑧単位量当たりの大きさを求める除法の理解 ⑨比例の理解・平均 ⑩帯グラフ・円グラフ ⑪式の意味の読み取り ⑫図形の合同理解 ⑬数量関係を式に表す 	<p>①～⑬ ・算数の習熟度別での授業</p> <p>・朝自習(ぐんぐんタイム)…基礎学力の定着</p> <p>・授業の流れの研究(思考力を育てる。)</p> <p>・算数的活動の充実を図る。</p> <p>○校内研修の充実 (・具体物を取り入れる・ひきつける導入の工夫・気づくヒントの与え方)</p>
質問紙調査		<ul style="list-style-type: none"> ・進んで掃除をし学校を綺麗にする。 ・相手の気持ちを考え丁寧な言葉遣いをする。「～ですか)。～ます(か)。」 ・自己肯定感 	<p>・全校を挙げての「ぴかぴか清掃」の取組</p> <p>子どもたちの掃除への取組をリアルタイムで賞賛し、意欲の向上につなげる。</p> <p>・言葉遣いについての指導の充実を図る。</p> <p>・道徳や特別活動等を通して、自己の生き方についての考えを深め、よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度の育成を図る。</p>

3 具体的な改善に向けた学校としての取組

- 学力向上推進委員会
学力向上に関する取組の計画立案、実施、見直し PDCAサイクル等
- 「ぐんぐんタイム(基礎計算力アップ)」
 - ・教師の指導のもと、計算プリントを計画的に実施し、習熟を図る。(週1回木曜日朝)
- 「算数パワーアップ教室」
 - ・算数の苦手な児童を対象に基礎・基本の定着を図る。
 - ・家庭訪問・個人面談の期間、夏休みに実施
- 「視写タイム(言語活動の充実)」
 - ・短文や物語文の視写を通し、正しい文章の書き方を知る。(週1回月曜日朝)
- 「読書活動の充実」
 - ・全校読書
 - ・図書室の積極的活用
 - ・ボランティアによる読み聞かせ
- 「個に応じた指導の充実」
 - ・少人数指導、TT(算数)…担任と算数担当教員が連携。課題把握、個別指導を実施。
- 「家庭学習のすすめ」
 - ・1学期保護者会で説明
 - ・全家庭へ配布し、啓発を図る。
 - ・2学期以降にも繰り返し啓発を図る。
- 「校内研修の充実」
 - ・具体物を取り入れる・ひきつける導入の工夫・気づくヒントの与え方→わかる喜びを実感できる算数の授業
 - ・低・中・高学年の各グループでの研究だけでなく、全体研修会で指導案を練り上げる。
 - ・研究授業の実施→低・中・高学年

